

教えて!

富山 けいざい



大型小売店って？

◆百貨店やスーパーなど／競争激化、人手不足深刻

Q－どんな店を言うの。

A－経済産業省の商業動態統計調査では「百貨店＋スーパー」で販売額が集計されており、これが一般に大型小売店の指標とされています。一方、東洋経済新報社の全国大型小売店総覧では百貨店、スーパー（総合・食品）、ホームセンター、専門店（家電、家具、衣料、ドラッグ）、ショッピングセンターなどに分類されています。



Q－県内のお店は増えているの。

A－総覧によると、県内の店舗数は2005年の212から18年は241に増えました。この13年間でスーパーが15、ホームセンターが11、専門店が26、ショッピングセンターが6それぞれ増加しました。一方、核となる店舗を持たない商業施設などが減っています。

Q－県内販売額はどうなっているかな。

A－商業動態統計調査から業態別の販売額合計をみると、「百貨店＋スーパー」は年末商戦のある12月が例年ピークとなり、近年は約130億円と横ばいで推移しています。ホームセンターも横ばいです。一方、冷凍食品や生鮮食品を充実させているドラッグストアが右肩上がりです。大型小売店ではありませんが、コンビニエンスストアは店舗数が増えているものの販売額は伸び悩んでいます。

Q－課題はななに。

A－隣県の食品スーパーが進出し、その周辺に他の業態が複数立地して一つの商業ゾーンを形成する動きがあります。今後は県境を越えた立地が増え、競争の激化が予想されます。

人手不足も課題となっています。イオンモール高岡やファボーレ（富山市）の増床の影響で深刻さが増し、県東部に進出予定だった総合ディスカウントストアの出店が1年先延ばしになりました。10月から消費税率が上がっており、年末商戦の結果も気になるところです。

業態別店舗数 ※全国大型小売店総覧2019より

	富山県		全国計	
	2005年	2018年	2005年	2018年
既存店店舗数	212	→ 241	18,731	→ 21,792
百貨店	3	2	365	251
スーパー	88	103	8,369	9,809
ホームセンター	17	28	2,318	2,629
専門店	63	89	5,303	7,276
ショッピングセンター	5	11	385	909

（北陸経済研究所の熊野和夫が解説しました。随時掲載します）